

7月5日(日) 2015年度第1回日本語能力試験 世界各地で34万人が挑戦！海外の応募者数は6%増加

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、7月5日(日)に、海外28の国・地域の115都市で、日本語能力試験(JLPT)を実施します。この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験として世界最大規模であり、今年で31年目を迎え、試験を実施する国・都市も年々増加しています。

■ 2015年第1回(7月)日本語能力試験の概要

- 【実施日】 2015年7月5日(日)
- 【実施都市】 海外28の国・地域、115都市、日本国内45都道府県
* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施
- 【応募者数】 約34万人(海外約25万人/日本国内約9万人)
- 【実施レベル】 N1~N5の5レベル(N1が最も難易度の高いレベル)
* レベル毎の認定(合格)の目安および詳細は、ウェブサイト(<http://www.jlpt.jp/>)をご覧ください。

- 【今回初めて試験を実施する国】 オランダ(都市:ライデン)
- 【今回初めて試験を実施する都市】 マンダレー(ミャンマー)、シヤンティニケタン(インド)

※ネパール(カトマンズ)での試験も、予定通り実施する見込みです。

■ 海外の応募者数

- 25万3,980人、昨年度第1回(7月)試験より6%増加
- 特に応募者数の伸び率が高かった地域・国

	応募者数(人)	前年比
東南アジア	52,516	36%
ベトナム	26,575	38%
インドネシア	7,023	20%
タイ	11,334	19%
南アジア	9,220	22%
インド	7,338	34%

※2014年第1回試験との比較

■ 日本語能力試験結果の活用例

- 高度人材に対する日本出入国管理上の優遇制度でのポイント付与
- 厚生労働省所轄の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
- 日ベトナムEPA: 看護師・介護福祉士候補者の選考基準

● 本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 日本語試験センター(担当: 小長谷、桑原、古田)

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

● ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当: 川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp